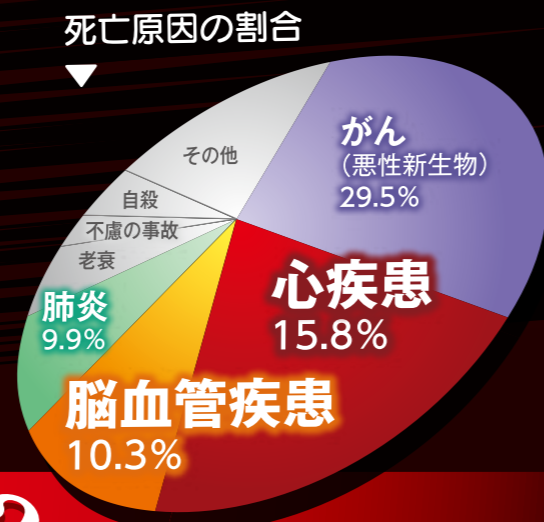


ご家族みんなの元気を応援します！

元気ニュース Genki News Vol.29

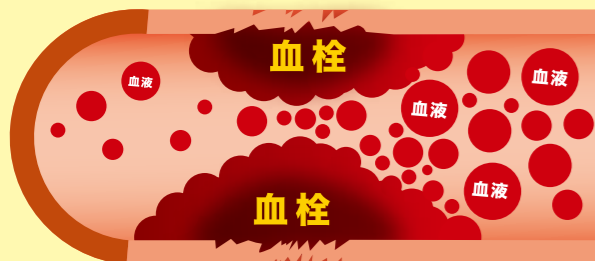
血栓症の死亡率は、ガンに迫る3割！

日本国内の死亡原因を見てみると、悪性新生物、すなわち「がん」で亡くなる人が約31万人と最も多く、心疾患が約16万人、脳血管疾患が約13万人と続きます。このような心疾患、脳血管疾患のなかには心筋梗塞や脳血栓といった、血管の中にできた血栓によって起こる病態(血栓症)が多く含まれています。なんと、**全死因の約3割**をしめるというのです。血管が傷付くことで起こり得る血栓症は、生命に影響をおよぼす恐ろしい病気なのです。しかし、それだけではありません。血栓症は、血液の流れの悪化(血流のうっ滞)、血液成分が変化した場合でも生じます。具体的に血栓症の危険因子といわれているのは、**肥満、高齢(40歳以上)、脱水、安静臥床状態、妊娠、手術後、心臓病、がん、先天性の血液凝固異常**などです。



そもそも血栓症とは??

血栓症の血管内部イメージ



ドロドロ血液は血栓をつくりやすい!

血栓症と聞くとイメージ的には高齢者の病気ですが、実情は若い人でもドロドロ血液や高コレステロール・高中性脂肪の傾向にあるため、とくに30代以上の方は気をつけたい病気です。血栓症はその名の通り、血栓が出来ている状態です。生活習慣病などによって血管内の皮がもろくなって傷つき、修復するために血小板が集まります。その結果、血小板が傷を覆うために凝固作用が生まれ、血管内に血栓ができてしまいます。血液がサラサラで健康状態であれば血栓は溶けやすいのですが、ドロドロ血液になっていると血栓が治りにくくなります。

NKCP[精製ナットウ菌培養物]は夕食後や就寝前に摂取するのがもっとも効果的です

血栓は深夜から早朝にかけての時間帯にできやすく、その血栓があらゆる発作の原因となると言われています。そのため、NKCPの摂取は夕食後や寝る前が最も効果的と考えられます。40代以上の方、ストレスの多い方、血圧が高めの方、高脂血症や糖尿病などで血液粘性の高い方等には、特に定期的な摂取をお勧めします。



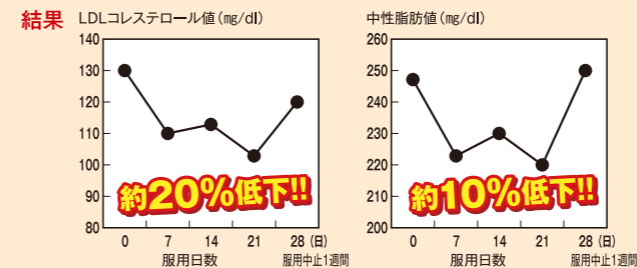
NKCPとあわせて摂りたい成分

紅麹KF

血液中のコレステロールを下げる

人による紅麹投与試験

対象 健康な成人男性(17名)
 方法 紅麹約70mg/日を3週間摂取(1錠中23mg配合の錠剤を1日3錠) 3週間後に1週間摂取停止
 コレステロール値を1週間毎に測定



紅麹には悪玉コレステロール(LDLコレステロール)や総コレステロール値を下げ、中性脂肪を減らし、善玉コレステロール値を上昇させる働きがあることが臨床試験により明らかになっています。その他、血管や心臓、肝臓の負担を軽くする働きがあり、血圧を下げる作用があることもわかってきました。

イチヨウ葉エキス

血液サラサラの強い味方!

血液サラサラ3大効果



イチヨウ葉エキスには約13種類のフラボノイドが含まれ、その中にはイチヨウ葉にしか含まれない特殊な二重フラボンが6種類も含まれています。この6種類のフラボノイドには、血管(特に毛細血管)を拡張し血行を促進させる機能や、脳動脈、心臓の血流を増加させ、血管の硬化を防ぐ機能が発見されており、**血液自体をきれいにし(血糖値の正常化、活性酸素の除去)、さらに血管を、細部の毛細血管まで丈夫にする作用**があるとされています。

健康TOPICS 第24回

こんな体のサインに要注意!



以下の項目にあてはまる数が多い人は注意!!

血栓症の危険因子チェックリスト

- がん
- 足の不随・麻痺あるいは最近のギプス固定
- 4日以上ベッドでの安静、あるいは過去4週間以内の手術(1時間以上)
- 足全体の腫れ
- ふくらはぎを押さえると痛い(圧痛)
- 左右のふくらはぎの周りの長さが3cm以上違う
- 足のむくみを押すとへこんだままになる
- 静脈瘤ではないが静脈が拡張している
- 過去に肺血栓塞栓症あるいは深部静脈血栓症といわれたことがある

NKCP

精製ナットウ菌
培養物

で健康な血液状態を!

NKCP (精製ナットウ菌培養物) は日本の伝統的な食品である納豆に着目して開発された食品です。納豆には血液の線溶系に作用し、**血栓を溶解する物質が存在する**ことが知られており、それらは、ナットウ菌 (B. subtilis var. natto) が産生する蛋白分解能を有するたんぱく質であることがわかってきました。しかし、最近の研究ではナットウ菌は線溶系に作用する物質以外に、**血液の凝固を抑制する物質**も作っていることが分かりました。このことは、**納豆を常食することにより、血栓形成のリスクを軽減できる**ことをあらわしています。NKCPは、大豆成分を含む液体培地を用い、日本の製薬会社独自の製法でナットウ菌を培養して精製を行うことにより、有用成分を濃縮すると共にナットウ菌を完全に除去し、納豆臭およびビタミンK2量を通常の摂取において問題のない程度まで除去した素材です。更に、NKCPには**抗凝固及び線溶系に作用する物質が常に一定量含有されるように調製**されています。

血栓溶解
作用

血液粘度
低下作用

抗凝固
作用

NKCPの優れた

パワー!!

その臨床実験
結果が明らかに!

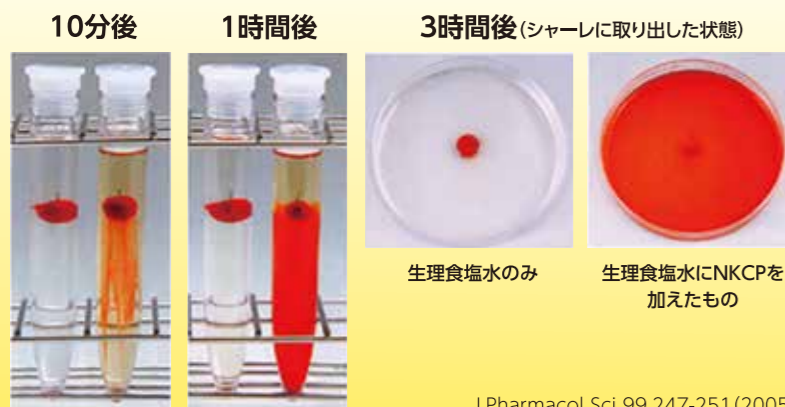
血栓溶解作用

血栓を
溶かす作用

NKCPの人工血栓 溶解作用

生理食塩水中の人工血栓にNKCPを少量加えると、数分後から血栓が溶解しはじめ、3時間後には血栓がほとんど溶解しました。(各写真の左がコントロールで生理食塩水のみ、右が生理食塩水にNKCPを加えたもの)

人工血栓にNKCPを加えた場合の経時的変化



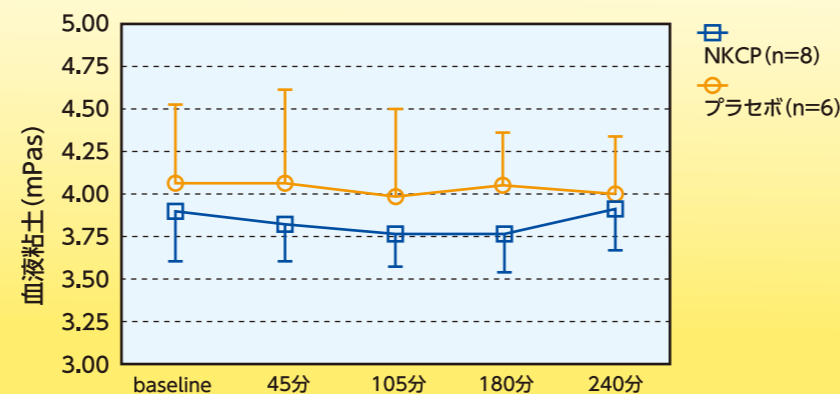
血液粘度低下作用

血液の
粘度の上昇を
防ぐ作用

ヒト血液を用いたNKCPの 血液粘度に対する作用の検討

健康成人男子8名の被験者に、プラセボ及びNKCP1250mgを単回摂取させ、摂取後240分まで経時的に採血し、血液粘度の変化を測定しました。尚、血液粘度は一杉らの方法によりオシロ粘度計を用いて測定しました。その結果、NKCP群は、摂取105分後及び180分後に摂取前に比べて有意な血液粘度の低下が認められました。また、プラセボ群との比較においても、NKCP群は摂取180分後に有意な血液粘度の低下が認められました。

NKCP摂取時の血液粘度の経時的変化



抗凝固作用

血液を
固まりにくく
する作用

ヒト血液を用いた NKCPの抗凝固作用

健康ボランティアから採血した静脈血3mLに対象物質30 μ L添加し転倒混和後、37 $^{\circ}$ Cで250秒間加熱し、その遠心上清についてラテックス免疫測定装置により、血栓形成程度を示すフィブリンモノマー (FM) を測定しました。その結果、対照とした生理食塩水添加時のFM値は、160 \pm 29.3 μ g/mL、ヘパリンナトリウム添加 (0.5IU/mL) では6.0 \pm 1.1 μ g/mLでした。NKCPは、最終濃度0.005mg/mLから用量依存的なFMの減少がみられ、0.05mg/mLでFM値は低い値を示し、その後NKCPの濃度の増加に伴うFMの減少は見られませんでした。

NKCPとナットウキナーゼ含有物質の抗凝固作用

